

「事務事業及び予算の執行実績（令和6年度分）

一部、令和5年度分を含む」

静岡県立浜松江之島高等学校

目 次

□□	事務事業の概要	1
	事務執行の根拠法令調	24
□□	学校施設の概要	26
□□	在籍生徒調	28
□□	入学志願者及び入学者数調	29
□□	卒業生の動向調	30
□□	生徒の状況	31
□□	授業料収納状況調	32
□□	歳入予算執行状況調	34
	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	36
□□	現金出納調	37
	預金調	39
	郵券等受払調	39
□□	歳入歳出外現金調	40
□□	歳出予算執行状況調	41
	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	48
□□	委託料に関する調	53
□□	負担金支出調	55
□□	建築工事調	57
□□	公有財産調	61
□□	借地借家等調	63
□□	行政財産貸付・使用許可調	64
	普通財産・借受財産等貸付調	65
□□	職員公舎管理状況調	65
□□	備品・図書調	67
	主要備品調	71

事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

昭和 54.12.19 静岡県教育委員会は第 2 次生徒急増期の高等学校整備計画において、昭和 59 年度西遠学区に高等学校の新設を決定

56. 9.22 設置場所を浜松市江之島町に決定

58. 4. 1 新設高等学校設立準備委員長ほか委員 2 人発令

58. 4.30 校地造成 (40.843 m²)

58. 7.23 起工式挙行

58.12. 2 県議会にて校名を「静岡県立浜松江之島高等学校」と決定

59. 2.21 設立準備委員 8 人発令

59. 2.28 第 1 期建築工事竣工 (南館、北館西ほか 延 6.980.29 m²)

59. 4. 1 定員 普通科 8 学級 360 人となる。

59. 4. 4 開校・入学式挙行 (新入生 384 人)

校歌制定 (飛翔賦)

59. 7.10 自転車置場建築工事竣工 (延 540 m²)

60. 2. 1 静岡県立高等学校入学者選抜に本校も推薦入学制を導入

60. 3.11 第 2 期建築工事竣工 (南館、北館中及び体育館 延 4.524.75 m²)

60. 8.22 プール (25m×8 コース) 及び付属棟建築工事竣工 (延 88.07 m²)

61. 2.20 南自転車置場建築工事竣工 (延 659.56 m²)

61.3.8 第3期建築工事竣工（南館、北館東 延 1.330.45 m²）

61.4.1 定員 普通科 10 学級 450 人となる。

平成 5.4.1 芸術科を新設

定員 普通科 9 学級 387 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

5.10.13 南自転車置場を移設

6.3.25 芸術棟（音楽館）建築工事竣工（延 545.65 m²）

西門竣工

6.4.1 定員 普通科 9 学級 378 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

7.4.1 定員 普通科 9 学級 369 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

8.4.1 定員 普通科 9 学級 360 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

12.4.1 定員 普通科 8 学級 320 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

14.4.1 定員 普通科 7 学級 280 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

15.4.1 定員 普通科 8 学級 320 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

16.4.1 定員 普通科 7 学級 280 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

18.4.1 定員 普通科 6 学級 240 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

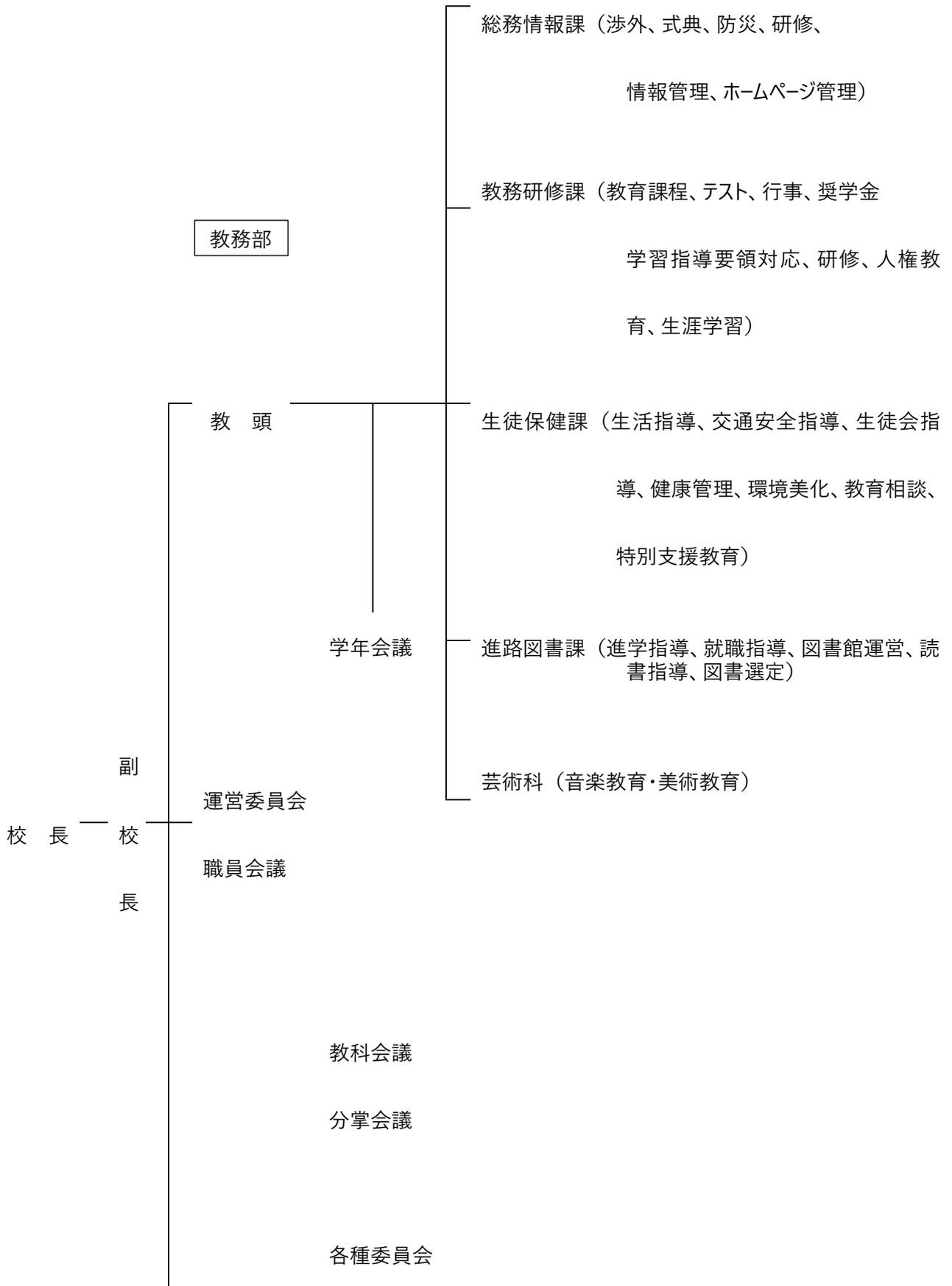
20.4.1 定員 普通科 5 学級 200 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

25.11.29 アクトシティ浜松中ホールにて、創立 30 周年芸術科 20 周年記念式典を挙

令和 3.4.1 定員 普通科 4 学級 160 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

6.4.1 定員 普通科 3 学級 120 人、芸術科 1 学級 40 人となる。

(2) 組織図



- ・教育課程検討委員会
- ・学校保健委員会
- ・施設開放委員会
- ・サポート委員会（特別支援教育校内委員会）
- ・コンプライアンス委員会
- ・外国人生徒担当者会議
- ・教育講演会実施委員会
- ・情報管理委員会（兼ICT推進委員会）
- ・総合的探究検討委員会
- ・教科主任会
- ・職員安全衛生委員会
- ・修学旅行検討委員会
- ・いじめ防止対策委員会
- ・学力向上委員会
- ・周年行事実施委員会
- ・演奏会・作品展示実施委員会



2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション

西部地区の普通科・芸術科併置校の特色を生かし、多様な生徒の多様な進路希望を全力で応援する地域密着型の学校として、「わかる」授業の実践と地域社会との接点を重視した探究学習を通して、知性と規律性、主体性を身に付け、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。

(探究とは、物事の意義や本質を見極めたり理解を深めたりすること)

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 安心・安全な学校づくりによる健全な生徒の育成

イ 知性を身に付け生きる力を育む授業の実践

(知性とは明白な答えがない問いや課題について考え、理解し、判断する能力のこと)

ウ 多様な生徒の自己実現に向けたキャリア教育や探究活動の推進

エ 主体性・規律性を身に付け自己指導能力の獲得を目指す生徒指導の推進

オ 多様性への理解を深め地域社会に貢献できる生徒の育成

カ 業務改善と不祥事根絶への確実な取組の実施

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組	取組目標	成果目標	達成 状況	評 価	成果と課題
ア	(ア) 挨拶をと おしたコ ミュニ ケー ション 能力の 育成	教員、生徒、来校者へ 目を見て挨拶をする 意識の涵養 教員から生徒へ積極 的な挨拶、声掛け 登校時の挨拶徹底	「相手の目を見て挨拶 ができている」生徒 90%以上	92%	A	比較的達成できている。しかし、「誰でも」「目を見て」となると、継続して指導が必要である。
		社会的コミュニケーション手段として礼法指導を実施	「挨拶や礼法がコミュニケーションツールとして重要であることを理解し、学校生活の中で実践できている」生徒 80%以上	96%	A	規律性を身につけるため ジョブティーチャーの礼法 指導を継続したい。
	(イ) 事故、いじめ、トラブルのない学校	教員からの声掛け、コミュニケーションによる生徒が相談しやすい環境作り 特別な配慮を必要とする生徒への指導の研修と実践	「相談できる先生がいる」生徒 75%以上	79%	A	職員が連携し、相談しやすい環境を作ることができたが、特別な配慮を要する生徒に関する情報共有や、チーム学校としての支援体制の構築が必要である。

	作り	面接やカウンセリング、ソーシャル・スキル・トレーニング等の定期的な実施による良好な人間関係作り 多様性を尊重する人権教育の推進	「学校生活に満足している」生徒 80%以上 「相手を思いやる行動や声かけを行った」生徒 85%以上	83% 90%	A	多様な仲間を理解し、思いやりのある言動も見られるが、一方で友人関係のトラブルも多い。「人間関係作りプログラム」の成果については意見が分かれる。
ア		交通安全指導と防災・減災教育を通じた自らの命を守る意識の高揚	自転車安全指導カードの活用、安全指導方法の検討、カード交付件数前年度比 10%減	R4 210 件 R5 162 件 約 23%減	B	カード交付件数は減ったが、特に 2 学期は事故が多かった。交通安全教室の実施方法を検討する必要がある。
		携帯型情報端末の不適切利用やネット・SNS 被害から生徒を守る家庭と連携した情報モラル教育推進	被害者や加害者の心情を理解し、他人に対する言葉遣いに配慮できる。 ネットパトロール検出件数前年度比 10%減	50%	B	ネットパトロール検出件数は減少したが、SNS の使い方が危険な生徒が多数いると思われる。潜在的なリスクは大きい。
	(ウ)校内環境の整備	定期的な施設設備の安全点検の実施及び危険個所の早期把握、迅速な対応	施設設備の破損等が原因による生徒及び教職員の事故ゼロ	80%	A	事故はなし。限られた予算の中でも対応すべきことの処理ができた。
		清掃指導の徹底とごみの削減 自分が出したごみの持ち帰り指導	「ごみの持ち帰りを行った」生徒・教職員 100%	生徒 98% 教職員 100%	A	教員の数の減少による 清掃指導監督者の不足 が来年度の課題である。 ごみの持ち帰りは習慣化 できた。
		終業時の整理整頓や掲示物の工夫による学習環境づくり 公共スペースの整理整頓、私物の管理徹底	「教室の学習環境が整っている」生徒 80%以上 「整理・整頓、私物の管理を心掛けて生活している」生徒 80%以上	83% 91%	A B	鍵付きロッカーの設置により、見た目上はきれいになっている。 共用スペースにおける私物管理については指導 継続したい。

		生徒自ら学習し、課題解決をする進路学習室の環境整備	「個別最適な学習環境の進路学習室での勉学に満足している」生徒70%以上	73%	A	スタディサプリの連動課題配信が計画的にでき個別最適学習が可能であった。
		多くの生徒が読書や授業等で利用する図書館づくり	「図書館を利用したことがある」生徒50%以上	71%	A	環境整備や書籍の充実、教員のおすすめ本POP作成等によって多目的に利用可能な空間作りを行い、授業以外でも多くの生徒に利用してもらえた。
ア		光熱水費等間接的経費節減の推進、物品や施設整備(修繕)等への予算充当による教育環境の向上	電気、水道、ガス及びコピー使用量 前年度同期比2%減	80%	A	限られた予算の有効活用が大いに図られた。予算の縮減から、今後も節約意識が重用となる。
		防災倉庫の備品、備蓄品の充実を図る	定期的な防災用品の在庫確認(年2回)	2回	A	新設の防災委員を活用し念入りに点検を実施した。
		防災訓練の実施方法を工夫し、防災意識の向上を図る	防災訓練の実施(年3回) 地域防災への参加率60%以上 ジュニア防災士の全員取得(1・2年生100%)	3回 39% 100%	A C B	防災訓練は予定通り実施できた。地域防災訓練は、津波注意報により未実施の地区が多くを占めたため参加率が低くなった。ジュニア防災士については、申請書類提出者は全員取得した。
	(ア)「学びなおし」の実践	個別指導や外部の教育支援コンテンツを活用したチャレンジスタディによる個別最適な学習の実践と基礎学力の定着	「基礎学力が身についた」生徒70%以上	89%	A	スタディサプリアでの学習が習慣付いてきている。客観的な成果としては、外部テスト結果の分析を待ちたい。

イ		授業内で基礎学力を定着させる指導を行い、小テストや定期テスト内で基礎学力確認問題を出題	正答率 70%以上の定着	約 60%	B	学習意欲の低い生徒が固定化されているため、継続的な取り組みが必要である。
	(イ) 教科学力の向上	全体授業研修会、各教科研修会、授業見学会の実施及び校外の教科別研修会等の研修成果の「生徒がわかる授業」への反映	「授業はわかりやすい」生徒 80%以上	85%	A	授業アンケートにおいて「理解ができなかった生徒」が 6 % いる。研修会等の参加により授業力向上ため研鑽を積みたい。
		ICT等を活用した授業、学習指導の充実	ICT 等を活用した授業改善や個別指導を実施した教員 70%以上 「アクティブ・ラーニングや ICT を活用し、工夫した授業を行っている。」生徒 70%以上	82% 64%	A B	プロジェクターの使用率は高い。生徒端末は 5 月調査で 7 教科において平均 18 分使用している。朝学習では毎日全生徒が使用している。紙媒体とのバランスを取り、効果的な活用方法を検討していく必要がある。
イ		各科目の課題の内容や配置、各科目間の関連付けを工夫し、より効果的な教科指導の実践	「4 月に比べ、美術に関する基礎的能力（知識、技能等）が向上した」生徒 90%以上	100%	A	基礎的能力の向上のため、来年度も継続して指導していく。
		「卒業・修了演奏会」に向けた構築性のある準備 自主的・計画的な練習とフォーサイトを活用した継続的な練習時間調査	生徒の 1 日練習時間が平均 1 時間以上	39%	C	試験前だけでなく年間を通して演奏研究の授業を中心に行う。
	(ア) 3 年間を通したキャリア教育の実践	進路ガイダンス、小論文指導、学校・企業見学の体系だった指導プログラムを作成し各学年の到達目標を明確にする	「進路指導に満足している」生徒 80%以上	87%	A	学年ごと必要な情報提供ができ、自主的な進路学習が可能となっている

ウ						る。
		生徒が自ら進路を考えて目標を設定し、担当教員との面談等を通じた納得のいくキャリア教育の実践	「進路実現に向けて自ら行動している」生徒 80%以上 「進路指導について満足（納得）している」生徒 80%以上	81% 87%	A A	学年が進むにつれて意識が高まった。3年生には専門分野を重視したチューター教員を割り当て、必要な進路指導を実施することができた。
		オンライン教材を活用した探究学習の実施（1年）	「地域の課題を発見し、解決する能力が身についた」生徒 80%以上	82%	A	オンラインによる探究学習ではライフキャリア探究を実施した。進路分野では1年生の企業見学で地域への貢献意欲を育成した。
		大学・専門学校等の出前授業学校見学およびインターンシップの実施で進路希望に応じた実体験を通して進路実現を目指す	「進路希望に応じた実体験は進路決定に役立った」生徒 80%以上	96%	A	2年生では2月にインターンシップ・学校見学を実施予定である。
		各学年での職業や上級学校などの説明会の積極的な実施	「自分の進路を考えるうえで進学・就職説明会などの経験は役に立った」生徒 80%以上	96%	A	複数の進路先を比較することで自主的な進路学習が可能となった。
	(イ)新学習指	新学習指導要領の3観点 を育てる教科指導方	各教科による観点別評価の検証と改善の実施	50%	C	観点別評価における評価上の問題は積み残しである。理解不
ウ	導要領への対応	法の研究と実践				足状態の生徒を減らしていきたい。
		研究会・報告会等で得た情報の発信と共有化、および進路指導への還元	「進路指導について満足している」生徒 80%以上	87%	B	生徒の満足度は低くないが、教員の情報の発信と共有化については受け身の状態であった。
	(ウ)進路希望実現のための教科指導、進	全ての教員が面接・小論文指導等の進路指導や学習指導に係わる進路指導の実践	「進路指導について満足している」生徒 80%以上 四大希望者の模試受験率 100%	87% 100%	A A	小論文チューターは外部模試と組み合わせて実施した。専門性を重視した指

	路指導の改善					導教員の指導により生徒に知性が身についた。
		進路決定者の卒業までの継続的な学習への積極的な取り組み	進路決定生徒の事後指導参加率 100%	50%	C	SPI やスタディサプリの取り組みを指導したが、達成度は低かった。また学力向上に対する意識をつけさせられなかった。
エ		自ら体調管理を心掛け、欠席・遅刻・早退をなくし、授業を大切にす意識の涵養	「朝食を毎日とっている」と答える生徒 95%以上 欠席、遅刻、早退の生徒前年度比 10%減	75% 欠席 142% 遅刻 143% 早退 147%	B C	食育教育の必要性を感じる。 欠席・遅刻・早退のいずれも大幅に増加しており、進路とも絡めて指導方法を検討したい。
		時間・期限を守ることにす意識の涵養	「始業時間・提出期限が守られている」生徒 95%以上 8時25分遅刻 前年度比 10%減	87%	B	始業・提出期限はまだまだ指導が必要。 提出物等確実に期限を守れる生徒が増えている 一方で、まだ指導の必要な生徒もいる。
		服装や身だしなみ、出欠席や提出物、清掃への取組み、携帯電話や1人1台端末の使用方法など「凡事徹底」意識の涵養	「身だしなみやマナーを守っている」生徒 70%以上	95%	B	定期的な頭髪服装検査の実施や日常的な声掛けによる成果が出ている。身だしなみ指導については教員間の基準の統一が必要である。

エ		朝読書を通じて落ち着いた一日の生活開始	「朝読書の時間に落ち着いて本を読んでいる」生徒 80%以上。	92%	A	「朝読書のきまり」を作成、配布したことで各教室での指導をしやすいできた。取組内容実態については検証が必要である。
	(イ)特別活動や部活動を通して人間性の涵養	日々の生活や学校行事（体育大会や文化祭など）における生徒の主体性の育成	「学校生活や学校行事に主体的に取り組んでいる」生徒 90%以上	93%	A	学校行事では、生徒自ら案を出し協力し合って主体的に取り組んでいる。
		部活動における効果的な練習による競技力・技術の向上	「部活動に積極的に取り組んでいる」生徒 80%以上	全体 79% 加入者 100%	B A	部活動加入者については積極的に取り組んでいる。部活動によって大きな差がある。
オ		オープンスクールや公開授業、文化祭、体育祭等を通じた開かれた学校・地域に根差した学校づくり	各種学校行事の参加人数前年度比 5%増	70%	B	来場者の感想は前向きであった。部活動見学については、工夫が必要である。
	(ア)中学校との連携強化	中学生一日体験入学やオープンスクール等の魅力化と内容充実	「本校への興味・関心が高まった」中学生 80%以上	95%	A	内容がマンネリ化しないよう、新しい企画を考えることが望ましい。
		出前講座や中学校学校行事への参加を通じた中学生の本校芸術科に対する理解促進	「本校への興味・関心が高まった」中学生 80%以上	90%	A	芸術科一日体験、芸術科相談会のアンケート結果からも多くの中学生が回答した。放課後の美術体験会等に複数回意

						<p>欲的に参加する中学生もいる。</p>
(イ)地域と連携した学校経営	P T A 活動のスリム化・効率化を図り、P T A 活動への積極的な参加を促す	「P T A 活動に満足している」P T A 役員 80%以上	95%	A	PTA 理事へのアンケートでは、活動に対する負担感を感じている人はほとんどいなかった。	
	地域との連携事業（イベントや商品開発等）への参加。芸術科で学んだことを生かした活動実践	「地域との連携を目指した活動を通して、貴重な経験をすることができた」生徒 80%以上	93%	A	生徒に実社会での実践により問題意識を深めさせることができた。	
オ	(ウ)積極的な情報発信と外部意見の学校経営への活用	保護者、地域、中学生に対する積極的な情報発信	学校行事の様子や部活動の結果、40周年行事等をホームページやSNSを活用し積極的に発信する。	達成できた	A	各職員にホームページへの多様な情報の掲載を促進し、さらなる情報発信に努める必要がある。
		演奏会に向けての取組、日常の活動の様子をホームページで年10回以上更新する	演奏会への来客数が座席定数の80%以上	1/27実施予定	B	回数は達成できていないが1/27までにホームページで更新していく。
カ	(ア)スクラップアンドビルドを意識した業務改革	効果的な部活動の在り方の検討、再編	長期的な視野に立った部活動の再編計画の策定	達成できた	A	部活動検討委員会の新設し、計画的に統廃合を検討している。
		目的志向型の校内予算の編成と効果的・計画的な予算執行	無計画、無調整等人為的要因による学校経営予算の執行残ゼロ	90%	A	職員の意向に極力沿ったうえでの執行ができ、執行残もほぼ0となると考えている。
	(イ)ワークライフバランスの実行	部活動の休息日の設定による効果的な部活動指導	部活動ガイドラインの周知及び実施	50%	B	部活動強化のためには練習時間の確保は重要である。生徒・顧問のや

						<p>る気とガイドラインの実施</p> <p>との壁をどのようにうめて</p> <p>いくかが課題である。</p>
--	--	--	--	--	--	---

(2) 令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標 （◎100%○85%△70%）	担当部署
ア	(7) 事件や問題行動、トラブルを未然に防ぐ安心な学校づくり	挨拶の徹底、礼法指導の実施 教員からの声掛け、コミュニケーションによる生徒が相談しやすい環境作り 特別な配慮を必要とする生徒への指導の研修と実践 多様性を尊重する人権教育の推進 情報モラル教育推進	○挨拶や礼法が実践できている生徒 ◎挨拶や礼法が重要だと生徒に理解させる指導をした教員 ○相談できる先生がいる生徒 ◎生徒が相談しやすい環境作りをした教員 ○学校生活に満足している生徒 ○相手を思いやる言動ができている生徒 ◎SNSに不適切な書き込みをしない生徒 ◎SNSの適切な使用を指導した教員	教務研修課 生徒保健課 進路図書課 各学年
	(イ) 事故や病気、怪我を未然に防ぐ安全な学校づくり	交通安全指導の実施 体調管理の徹底 防災・減災教育の実施による防災意識の向上	◎自転車による加害事故がなかった生徒 ◎自動車等による加害事故や交通違反がなかった教職員 ◎朝食を毎日摂るように心がけている生徒 ◎自らの命を守る行動を意識して防災訓練に参加している生徒 ○地域防災訓練に参加した生徒	生徒保健課 総務情報課 各学年 管理職
	(ウ) 環境整備等による安心・安全な学校づくり	清掃指導の徹底とごみの削減 施設設備の危険箇所や破損等の早期把握、迅速な対応 多くの生徒が利用しやすい図書館や進路学習室の整備	◎ごみの持ち帰りを行った生徒・教職員 ○整理整頓を心掛けている生徒・教職員 ○学習環境が整っていると感じた生徒 ◎定期的な安全点検を実施した教職員 △図書館を利用した生徒 △進路学習室での勉学に満足している生徒	生徒保健課 進路図書課 総務情報課 事務部

イ	(ア)知性を育む基礎学力の定着	小テストや定期テストの工夫による基礎学力の定着 スタディサプリを活用した個別最適な学習の実践	○基礎学力が身に付いた生徒 ◎生徒の基礎学力が向上したと感じる教員 ○自らの学習する意欲が高まった生徒 ◎生徒の学習意欲が高まったと感じる教員	教務研修課 各教科
	(イ)知性や表現力の向上につながる授業実践	ICT等を活用した授業、学習指導の充実 卒業・修了演奏会の充実 卒業制作・授業作品展の充実	○ICT等を活用して工夫した授業が行われていると感じた生徒 ○ICT等を活用した授業改善を実施した教員 ○授業力向上に関する研修に参加した教員 ◎1日に平均1時間以上演奏した生徒 ◎4月に比べ美術の能力が向上した生徒	教務研修課 総務情報課 芸術科 各教科
	(ウ)知性の定着を意識した観点別評価の改善	教科内での研究会や報告会の実施 校内での学習指導や評価に関する情報交換の実施	○観点別評価が実施されたと感じる生徒 ◎3観点を育てる教科指導を実践した教員 ○観点別評価の改善を意識している教員 △観点別評価に関する研修に参加した教員	教務研修課 各教科
ウ	(ア)3年間を通じたキャリア教育の実践	進路に関する面談の充実 面接指導や小論文指導の改善 出前授業、学校見学、インターンシップ、説明会等の効果的な実施	○進路指導に満足している生徒 ○進路実現に向けて自ら行動している生徒 ○進学・就職説明会が役に立ったと感じた生徒	進路図書課 各学年
	(イ)自己実現を目指す探究活動の体系化と実践	探究活動の組織的な体系づくり 総合的な探究の時間の増単の検討	○よりよい生き方について考えた生徒 ◎探究活動の目的を共有した生徒・教員 △探究活動の充実に取り組んだ教員	教務研修課 総務情報課 各学年 各種委員会
エ	(ア)基本的な生活習慣の確立	欠席・遅刻をなくして授業を大切にする指導の実施 時間・期限・身だしなみ・マナーを守る指導の実施 頭髪指導見直しの検討	◎欠席・遅刻をなくすように心がけた生徒 ○始業時間や提出期限を守っている生徒 ○身だしなみやマナーを守っている生徒 ○朝読書の時間に落ち着いて本を読んでいる生徒	教務研修課 生徒保健課 各学年
	(イ)特別活動を通じた主体性の育成	日々の生活や学校行事（体育大会や文化祭など）における生徒の主体	○学校生活や学校行事に主体的に取り組んでいる生徒 △部活動に積極的に取り組	生徒保健課 各学年 各部活動

		性の育成	んでいる生徒 ○生徒の自己理解が深まるような働きかけをした教員 ○生徒が自己目標を設定し、目標達成のために行動できるような工夫をした教員	
オ	(ア)学校間連携及び共生・共育の推進	高特連携・中高連携の充実 地域との連携事業への参加	△特別支援学校や中学校とのボランティア活動や共同活動等に関心が高まった生徒 △共生・共育について理解を深めた教員 ○地域との連携を目指した活動を通して貴重な経験をすることができたと感じた生徒	教務研修課 総務情報課 芸術科 各学年 各種委員会
	(イ)学校の魅力発信	学校HP等の充実 中学生一日体験入学やオープンスクール等の充実 コミュニティスクール実施の検討	○学校HPやインスタグラム等で生徒の様子や学校の情報を発信した教職員 ○本校への興味・関心が高まった中学生	教務研修課 総務情報課 各学年 各部活動
カ	(ア)業務改善にもつながる教育課程の変更	学校の実態に合った教育課程の立案・決定 部活動の再編計画の検討	△生徒の実態に合わせた案を意識した教員 △受け持ち科目の縮減を意識した教員 △部活動の在り方を考えた教員	教務研修課 生徒保健課 各種委員会
	(イ)ヒト・モノ・カネの適切な管理	超過勤務時間の縮減 部活動ガイドラインの周知徹底 不祥事根絶への取組の確実な実施 光熱水費等の経費節減の推進 文書事務効率化の取組の徹底 教育環境向上のための物品や施設整備（修繕）等への予算充当 目的志向型の校内予算の編成と効果的・計画的な予算執行	◎不要な超過勤務をなくすことを意識した教職員 ◎部活動ガイドラインが守られていると感じる生徒・教員 ◎常に不祥事根絶を意識している教員 ◎不祥事を起こさなかった教員 ○光熱水費等の経費節減を意識して行動した生徒・教職員 ◎文書受付・配付のメール等の確認を出勤日に1回以上確実にいった教職員 ◎学校経営予算を計画的に正しく執行した教職員	全ての部署

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
----	------	--------

	<p>1 年生全員が、半日の職場見学を実施した。</p> <p>2 年生は就職希望者に、1 日のインターンシップでの職場体験を実施し、進学希望者には、上級学校説明会を実施した。</p>	<p>将来の進路選択に向け、進学希望・就職希望のそれぞれの生徒が、体験的な学習をすることができた。</p>
5	<p>県浜松土木事務所及び浜松市関係課の協力を受け、防災教育の充実を図った。</p> <p>1 浜松市沿岸域防潮堤の見学と現地での講義</p> <p>2 1 年生全員のジュニア防災士資格取得に向けた講義と演習</p> <p>3 大規模地震発生時の津波被害を想定した屋上垂直避難の防災訓練の実施</p> <p>4 生徒防災委員の新規設置と防災活動の充実</p> <p>今年度は生徒の委員会活動により、自分の命は自分で守るという方針のもと、生徒自身が主体的に防災活動に取り組む場を設けた。</p>	<p>コロナ禍で、密を避けるため縮小していた避難訓練を、従来の方法に戻して実施した。ブランクによる不慣れさが見られたので、今後はより避難の精度を高めていきたい。</p> <p>防災委員活動については、生徒主体による防災意識の涵養を促し、一定の効果を得たので、次年度も発展的に取り組んでいきたいと考える。</p>
5	<p>静岡県教育委員会の事業「新時代を拓く高校教育推進事業「プロフェッショナルへの道」」の、「産業界との連携進化」について取り組んでいる。</p> <p>令和 3 年度、令和 4 年度に引き続き、本年度は事業 3 年目の集大成としての取り組みである。</p> <p>「産業界との連携進化について」は、地域の染色産業の見学を行うとともに、空き家問題に関連したまちづくり活動をし、芸術活動と地域との関わりや経済活動を探究した。一般市民を対象に油彩や日本画のワークショップを開催したり、自治会と連携したごみ問題解決のための課題分析をもとにしたポスター制作と検証を行い、芸術活動の社会への還元に向けた取り組みを行った。</p>	<p>これまで実施してきた活動の発展的取り組みとして、社会と連携したより実践的な活動を展開することができた。芸術についての学びが社会のなかで必要とされる学びであることを生徒達実感することができる機会となった。また、活動の過程で、分析し判断し実践することを体験することで、知識・技能だけでなく思考力・判断力を育成する機会とすることができた。</p>
5	<p>本校芸術科の特色的な取り組みとして、音楽専攻では、卒業・修了コンサートを校外ホールで行い、一般の方に一年間の学習成果の演奏を披露した。また、校内でもミニコンサートを実施し、普通科の生徒に対しても芸術を愛好する機会を提供した。</p> <p>美術専攻では、卒業制作、授業作品展を実施し、日頃取り組んできた作品の展示を行った。</p>	<p>芸術科の教育活動は高い専門性を有し、生徒の生涯にわたって芸術を愛好する心情を育てている。</p> <p>また、芸術科のある学校として、内外において学習成果発表等により、本校生徒や地域住民に対しても、生涯にわたり芸術を愛好する心情の醸成に貢献している。</p>
6	<p>令和 8 年度の浜松特別支援学校分校の本校への設置に向け、準備を進めている。</p> <p>令和 6 年度については、両校の管理職を中心に設置委員会において設置準備についての検討をし、設備や備品の整備、工事内容の確認等を行ってきた。令和 7 年度には、委員会の規模を拡大し、より具体的な検討に入っていく予定である。</p> <p>また、生徒間の交流も拡大し、両校の生徒会生徒同士の交流会などを新たに企画し実施した。</p>	<p>施設面においては、分校の使用スペースについての明け渡し準備等を確認することができた。しかし、開校後、両校の生徒が施設を共有することについて、早急にさらに詳細な調整をする必要がある。</p> <p>生徒間の交流会については、職員、生徒の自発的な発案によって実施できてよかった。</p>

<p>「総合的な探究の時間」において、これまでライフキャリア探究をテーマに学習を展開してきた。生徒が自分自身のより良い生き方を探究するために、企業見学、進路学習、保育実習、マナー教育等を交えながら探究学習を進めてきた。</p> <p>令和7年度からは、授業時数を増やし、企業探究、教育探究、国際探究、独自探究などのコースを設け、より深化した学びを目指していく。地域のミッションを地域とともに解決していくことを目標に、より実践的な探究学習が展開できるよう、現在、地域の企業や教育機関、NPO等域との連携体制の構築を図っている。</p>	<p>来年度の連携企業の募集については、商工会議所や多くの企業に理解を示していただくことができた。</p> <p>実際の運用については、生徒移動手段や保険の問題など、一つ一つ解決していかなくてはならない課題がある。</p>
<p>芸術科においては、音楽、美術専攻とも、東京の芸術系大学の見学や体験、美術専攻においては美術館鑑賞など、積極的に高い専門性に触れる機会を設けた。</p> <p>外部との連携も積極的に行い、浜松特別支援学校の生徒に対する演奏披露や作品展示などにより芸術を通じた地域交流を行った。また、馬込川水門の文字デザインの協力や地域住民を対象とした日本画ワークショップの開催などの地域貢献を行っている。</p> <p>授業においては、外部講師を招いての民族楽器の体験、地元オーリーブ農家と連携した商品開発の授業などにも取り組んでいる。</p>	<p>芸術科では、生徒が意欲的に専門性を高めるため、目標の実現に向け切磋琢磨し合い学習に取り組む姿が見られた。</p> <p>また、外部との連携や発信により芸術の社会的な有用性について認識することができた。</p>

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

(単位：人)

	本 務 職 員											臨 時 職 員						合 計	
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	主任実習助手	養 護 教 諭	事 務 長	主 査	主 任	主 事	小 計	教 諭 (臨)	主 事 (臨)	会 計 年 度 任 用 職 員					小 計
														A	非常勤講師	スカウター	非常勤職員		
転出	1			6					1		8			1				1	9
退職				5			1				6			2				2	8
転入	1			7					1		9			4				4	13
新任				2			1			1	4	1		4				5	9
差引増減	0	0	0	△2	0	0	0	0	0	1	△1	1	0	0	5	0	0	6	5

(2) 現員数 (令和7年4月1日現在)

(単位：人)

	本 務 職 員											臨 時 職 員						合 計	
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	主任実習助手	養 護 教 諭	事 務 長	主 査	主 任	主 事	小 計	教 諭 (臨)	事 務 員	会 計 年 度 任 用 職 員					小 計
														A	非常勤講師	スカウター	非常勤職員		
男	1			23				1	1	1	27			7			2	9	36

女		1	1	11	1	1	1	1			17	2	1	1	17	1	1	23	40
計	1	1	1	34	1	1	1	2	1	1	44	2	1	1	24	1	3	32	76

再任用教諭 7人（うち19時間25分 4人）

(3) 健康管理について

令和5年度

主に次の3点を実施した。

ア 職場環境の確認のための巡視

イ 月80時間以上の時間外勤務者、定期健康診断の結果、面談が必要と思われる者、心身に問題を抱える者等に対する健康相談の実施

ウ 新型コロナウイルス感染症予防対策の実施

令和6年度

主に次の3点を実施した。

ア 職場環境の確認のための巡視

イ 月80時間以上の時間外勤務者、定期健康診断の結果、面談が必要と思われる者、心身に問題を抱える者等に対する健康相談の実施

ウ 職員休養室の整備・改善

(4) 教職員の研修について

令和5年度

研修の目的	研修内容及び成果	課 題
<p>生徒が協調性や社会性などの実践的なスキルや、進路決定に係る決断力や問題解決能力を身に付けるプロセスにおいて、教員は合理的な配慮を踏まえた的確な支援を行うことができるようになるための研修を行う。</p>	<p>【実践内容】</p> <p>4月 1学年 LHR 実施のための、SCと1年部職員との事前研修</p> <p>SC 講話「今日一日を楽しく～ストレスと心のケア～」</p> <p>生徒・職員対象研修</p> <p>「人間関係づくりのための実践講座」第1回</p> <p>「ストレスと考え方を知ろう（こころの法則ABC）」</p> <p>講師 一般社団法人ダイジョブ・プロジェクト代表理事</p> <p>□□□□氏</p> <p>7月 「人間関係づくりのための実践講座」第2回</p> <p>講師 □□□□氏</p> <p>8月 職員校内研修「SSTに関する概論と指導領域の解説」</p> <p>講師 □□□□氏</p> <p>11月 1学年 LHR 実施のための、SCと1年部職員との事前研修</p> <p>「人間関係プログラム（アンガーマネジメント）」の実施について</p> <p>12月 「人間関係プログラム（アンガーマネジメント）」</p> <p>1年生 LHR 実施を受けて、SCの指導によるグループワークを実施</p>	<p>コロナ禍を経て、生徒の人間関係構築能力や問題解決能力の低下が目立つ。今後、配慮の必要な生徒はさらに増加していくことが予想されるので、職員が適切な支援が行えるよう研修を重ねていくことが必要である。</p>

	<p>【成果】</p> <p>主に1年生のLHRと関連させ、外部講師・スクールカウンセラーによる職員研修とを組み合わせ実施した。専門知識を持つ外部人材による研修が、多様な背景を持つ生徒に対する理解の深化と適切な指導方法の知識と技術の向上という点において成果があった。</p>	
--	--	--

令和6年度

研修の目的	研修内容及び成果	課 題
<p>人間関係 その他の悩み から不登校傾 向を示す生徒 が少なからず 存在する本校 の現状を鑑 み、生徒が発 するわずかな 兆候を捉えら れるようになる。そして、できるだけ早い 時点で適切な 対応をとるこ とで、当該 生徒にとって より良い解決 を見出せるよ うにする。</p>	<p>【実践内容】</p> <p>6月 定期訪問 6月17日(月) 外国語・ALT・国語</p> <p>授業公開週間 6月17日(月)～28日(金)</p> <p>8月 令和6年8月1日(木) 午前9時30分～午前11時</p> <p>本校大会議室</p> <p>講師を迎え、教職員の観察力向上をテーマに研修を行う。</p> <p>講師 県総合教育センター専門支援部教育相談課</p> <p>□□□□ 教育主査</p> <p>10月 授業公開週間 10月22日(火)～11月1日(金)</p> <p>【成果】</p> <p>8月校内研修について、講師の指導の下、4人程度のグループに分かれ、実際の本校生徒について情報交換・意見交換を行った。日頃接している生徒について、客観視する機会を得た。問題を抱える生徒への</p>	<p>教員間の連携、養護教諭やスクールカウンセラーとの連携はともかく、保護者対応や外部機関との協力などについては具体性を欠いた感はある。</p>

	<p>対応について、教員が対応できることについての知識・経験を共有していることは、これからも継続していけるよう研修を重ねる。一方で、教員による対応が難しい部分について、具体的な方策を研修できれば心強い。</p>	
--	---	--

6 防災対策について

地震、火災等から生徒や施設を守るため次の訓練、講話を実施し、防災意識の高揚を図っている。

(1) 実施の内訳

令和5年度

年度	月 日	訓練、講話の内容	対 象 学年等
5	4月11日	1年生徒による防潮堤見学及び津波避難訓練	1年生
	6月23日	地震津波避難訓練（屋上へ避難）	全学年
	7月20日	火災避難訓練（体育館へ避難）	全学年
	11月2日	地震津波避難訓練（屋上への避難）※緊急地震速報訓練	全学年
	11月28日	起震車体験	1年生
	12月5日	「ふじのくにジュニア防災士」意識啓発コース	1年生

(2) 評価、改善

評 価	<p>新型コロナの感染症予防のため、全学年対象の避難訓練ができずしたが、今年度から実施することができた。最初は情報伝達の不備が目立ったが、訓練を重ねるにつれて、情報伝達の正確性や危機管理意識の高揚を図ることができた。</p>
課 題	<p>校内自らの命は自らで守り、高校生としてふさわしい行動をとるという「自助」と「共助」が自然にできるよう、工夫していく必要がある。</p>

令和6年度

年度	月 日	訓練、講話の内容	対 象 学年等
6	4月12日	1年生徒による防潮堤見学・屋上避難階段確認	1年生
	5月10日	地震津波避難訓練（屋上へ避難）	全学年
	10月4日	火災避難訓練（体育館へ避難）	全学年
	11月5日	地震津波避難訓練（屋上への避難）※緊急地震速報訓練	全学年
	11月12日	起震車体験	1年生
	11月19日	「ふじのくにジュニア防災士」養成講座	1年生

(2) 評価、改善

評 価	年に2回の訓練を通し、南海トラフ地震を見越した津波対応の屋上避難が、職員、生徒に定着してきた。
課 題	自らの命は自らで守り、高校生としてふさわしい行動をとるという「自助」と「共助」が自然にできるよう、課外時間における行動についても考えさせたい。

学校開放について

年度	施設等の名称	利 用 目 的	延利用日数	延利用者数	利用者負担金
5	運動場・体育館		0日	0人	0円
	計		0日	0人	0円

年度	施設等の名称	利 用 目 的	延利用日数	延利用者数	利用者負担金
6	運動場・体育館		0日	0人	0円
	計		0日	0人	0円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第 1 条、第 2 条） 学校教育法（第 1 条、第 2 条、第 3 条、第 50 条、第 51 条、第 52 条、 第 56 条、第 57 条、第 59 条、第 60 条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第 5 条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第 11 条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に 関すること	いじめ防止対策推進法 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 学校教育法（第 137 条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 33 条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第 21 条、第 22 条） 学校保健安全法（第 15 条、第 27 条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 社会教育法（第 43 条、第 44 条、第 45 条、第 46 条、第 47 条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第 3 条、第 4 条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金交付要綱

	<p>静岡県手数料徴収条例</p> <p>静岡県高等学校等教育資金及び静岡県高等学校等奨学金貸与規則</p> <p>高等学校遠距離通学費補助金交付要綱</p> <p>県立学校行事キャンセル料支援事業費補助金交付要綱</p> <p>静岡県情報公開条例施行規則</p> <p>独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16 条、第 17 条）</p>
--	--

□□□□ □

学 校 施 設 の 概 要

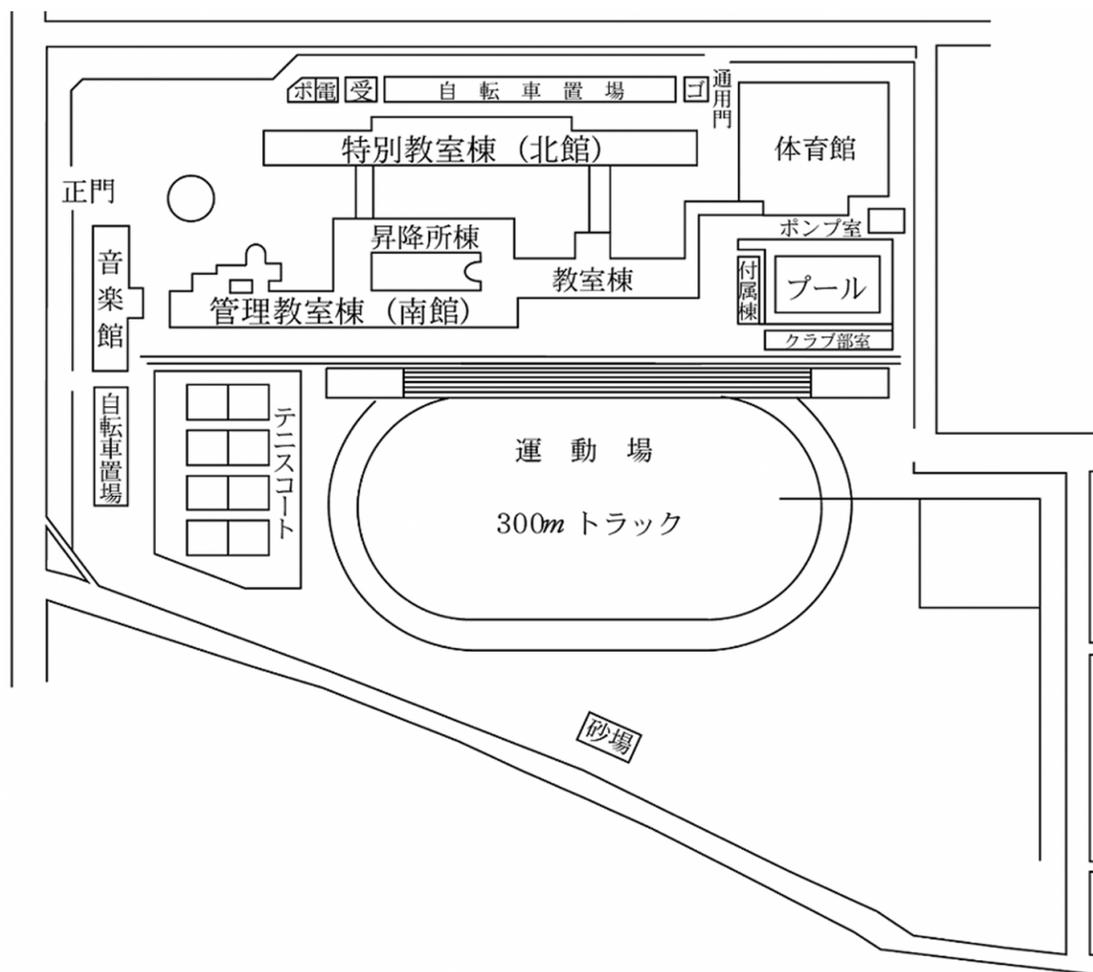
1 面積及び所有区分

(令和7年1月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	41,073.35	41,073.35					
内 訳	校舎敷地	18,256.95	18,256.95				
	運動場敷地	22,816.40	22,816.40				
校 舎	建 4,159.90	建 4,159.90					
	延 10,065.27	延 10,065.27					
体 育 館	建 1,318.41	建 1,318.41					1階部分 武道場
	延 2,545.58	延 2,545.58					
その他の建物	建 1,168.77	建 1,168.77					自転車置場、 プール付 属棟ほか
	延 2,046.42	延 2,046.42					
プ ー ル	400.00	400.00					25m×16m
職 員 住 宅	戸 12	戸 12					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	41,073.35 m ²	10,065.27 m ²	22,816.40 m ²
県平均	45,604.83 m ²	9,733.60 m ²	22,480.60 m ²

在 籍 生 徒 調

（令和7年1月31日現在）

学年	学科別 区分		全日制普通科				全日制芸術科				（合 計）			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1 年	入学者		120	66	60	126	40	6	19	25	160	72	79	151
		増 加			1	1				0		0	1	1
		減 少			1	1				0		0	1	1
	現在			66	60	126		6	19	25		72	79	151
2 年	入学者		160	67	85	152	40	11	30	41	200	78	115	193
		増 加				0				0		0	0	0
		減 少		5	6	11			1	1		5	7	12
	2年時当初			62	79	141		11	29	40		73	108	181
		増 加		1		1				0		1	0	1
		減 少		3	3	6				0		3	3	6
	現在			60	76	136		11	29	40		71	105	176
3 年	入学者		160	86	59	145	40	5	22	27	200	91	81	172
		増 加				0				0		0	0	0
		減 少		3		3				0		3	0	3
	2年時当初			83	59	142		5	22	27		88	81	169
		増 加				0				0		0	0	0
		減 少		7	2	9				0		7	2	9
	3年時当初			76	57	133		5	22	27		81	79	160
		増 加				0				0		0	0	0
		減 少			1	1				0		0	1	1
現在			76	56	132		5	22	27		81	78	159	
合 計				202	192	394		22	70	92		224	262	486

□□□□□ □

入学志願者及び入学者数調

区 分		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度	
学 科 別		普通科	芸術科	普通科	芸術科	普通科	芸術科	普通科	芸術科	普通科	芸術科
生徒定員(A)		160	40	160	40	160	40	120	40	120	40
募集者数 (B)		160	40	160	40	160	40	120	40	120	40
志願者数	男	81	5	89	5	68	11	76	6	64	3
	女	68	30	58(3)	22	87	31	63	18(1)	70	29
	計(C)	149	35	147(3)	27	155	42	139	24(1)	134	32
受検者数	男	81	5	88	5	67	11	76	6	64	3
	女	68	30	58(3)	22	87	30	63	18(1)	70	29
	計(D)	149	35	146(3)	27	154	41	139	24(1)	134	32
合格者数	男	81	5	86	5	67	11	66	6	56	3
	女	68	30	58(2)	22	85	30	59	18(1)	64	29
	計(E)	149	35	144(2)	27	152	41	125	24(1)	120	32
志願倍率(C)／(B)		0.93	0.88	0.92	0.68	0.97	1.05	1.16	0.60	1.12	0.80
受検倍率(D)／(B)		0.93	0.88	0.91	0.68	0.96	1.03	1.16	0.60	1.12	0.80
入学者数	男	81	5	86	5	67	11	66	6	56	3
	女	68	30	59	22	85	30	59	19	64	29
	計(F)	149	35	145	27	152	41	125	25	120	32
充足率(F)／(A)		0.93	0.88	0.91	0.68	0.95	1.03	1.04	0.63	1.00	0.80

卒業生の動向調

1 進路状況

学 科 別	全日制普通科			全日制芸術科			(計)			
年 度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数	173	134	132	27	32	27	200	166	159	
内 学 者 小 計	(進学志願者)	(107)	(77)	(84)	(24)	(31)	(21)	(131)	(108)	(105)
	進大学・短大	37	27	26	9	12	12	46	39	38
	専修・各種学校等	68	50	56	15	17	7	83	67	63
	就職者	55	46	43	3	1	3	58	47	46
	自営者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	進学準備者	2	0	2	0	2	5	2	2	7
	その他	11	11	5	0	0	0	11	11	5
合 計	173	134	132	27	32	27	200	166	159	

2 求人状況

区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	68	58	54	46
求人数	176	163	178	198
求人倍率	2.59 %	2.81 %	3.30 %	4.30 %

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	全日制普通科	全日制芸術科	(計)
卒 業 生 徒 数	134	32	166
漢字検定 2級	4	1	5
漢字検定 準2級	8	4	12
漢字検定 3級	9	3	12
実務英語検定 1級	1	0	1
実務英語検定 準1級	3	0	3
実用英語検定 2級	2	0	2
実務英語検定 準2級	2	1	3
実用英語検定 3級	3	0	3
全商簿記実務検定 2級	0	0	0
全商簿記実務検定 3級	63	0	63
日本語ワープロ検定 1級	0	0	0
日本語ワープロ検定 2級	1	0	1
日本語ワープロ検定 準2級	6	0	6
日本語ワープロ検定 3級	4	0	4
日本語ワープロ検定 4級	0	0	0
合 計	106	9	115

□□□□□ □

生 徒 の 状 況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1)出身地 (令和7年1月31日現在) (単位:人)

市町名	浜松市	磐田市	湖西市	袋井市	森町	掛川市	その他	合計
生徒数	404	51	12	8	1	2	7	485
構成比%	83.3%	10.5%	2.5%	1.7%	0.2%	0.4%	1.4%	100%

(2)通学方法 (令和7年1月31日現在) (単位:人)

区 分	自転車	自転車と 交通機関	交通機関	徒歩	その他			合計
生徒数	363	48	65	5	4			485
構成比%	74.9%	9.9%	13.4%	1.0%	0.8%			100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年1月31日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		10	10	/	20
男 子	1 年	49	22	1	72
	2 年	44	24	3	71
	3 年	50	17	14	81
	計(A)	143	63	18	224
	構成比	63.9%	28.1%	8.0%	100.0%
女 子	1 年	25	44	9	78
	2 年	22	56	27	105
	3 年	16	45	17	78
	計(B)	63	145	53	261
	構成比	24.1%	55.6%	20.3%	100.0%
合 計	(A+B)	206	208	71	485
	構成比	42.5%	42.9%	14.6%	100.0%

□□□□□ □
(全日制)

授業料収納状況調

(令和5年度)

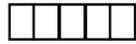
期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収 納額	収入 未 済 額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A・期首収納権利発生額 = 1,514,700円 (51人×9,900円×3月) B・収納権利増減(▲)額 = ▲59,400円 (内訳) 8月：第Ⅰ期授業料遡及認定 1年：2人×9,900円×3月 = ▲59,400円 C・収納必要額A(±)B = 1,455,300円
	5							0	0					
	6							0	0					
	7	17	504,900	20	594,000	11	326,700	51	1,514,700	1,455,300		0	59,400	
		2	59,400	1	29,700									
	8	▲2	▲59,400					▲2	▲59,400		0.0	59,400	0	
	9							0	0				0	
計	17	504,900	21	623,700	11	326,700	49	1,455,300	1,455,300	100.0	59,400	0		
二 期	7						0	0					A・期首収納権利発生額 = 2,722,500円 (55人×9,900円×5月) B・収納権利増減(▲)額 = ▲297,000円 (内訳) 10月：第Ⅱ期就学支援金遡及認定 1年：2人×9,900円×5月 = ▲99,000円 2年：2人×9,900円×5月 = ▲99,000円 3年：2人×9,900円×5月 = ▲99,000円 C・収納必要額A(±)B = 2,425,500円	
	8						0	0						
	9							0	0					
	10	19	940,500	15	742,500	15	742,500	55	2,722,500	2,425,500		0		297,000
		2	99,000	2	99,000	2	99,000							
	11	▲1	▲49,500	▲2	▲99,000	▲1	▲49,500	▲5	▲247,500			0.0		297,000
						▲1	▲49,500							49,400
1	▲1	▲49,500					▲1	▲49,500						
計	19	940,500	15	742,500	15	742,500	49	2,425,500	2,425,500	100.0	49,400	0		
三 期	12						0	0					A・期首収納権利発生額 = 1,940,400円 (49人×9,900円×4月) C・収納必要額A(±)B = 1,940,400円	
	1	19	752,400	15	594,000	15	594,000	49	1,940,400	1,940,400	100.0	0		
	2							0	0			0		
	3							0	0			0		
	計	19	752,400	15	594,000	15	594,000	49	1,940,400	1,940,400	100.0	0		0
合計	55	2,197,800	51	1,960,200	41	1,663,200	147	5,821,200	5,821,200	100.0	108,800	0	D・収納必要額 = 5,821,200円	

□□□□□ □
(全日制)

授業料収納状況調

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後 収入 未済額		
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率		納額	
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A・期首収納権利発生額=1,692,900円 (57人×9,900円×3月) B・収納権利増減(▲)額=0円 C・収納必要額A(±)B=1,692,900円
	5							0	0					
	6							0	0					
	7	23	683,100	19	564,300	15	445,500	57	1,692,900	1,603,800		0	89,100	
			0		0									
	8		0						0	0.0	89,100		0	
	9							0	0				0	
計	23	683,100	19	564,300	15	445,500	57	1,692,900	1,603,800	94.7	89,100	0		
二 期	7							0	0					A・期首収納権利発生額=3,197,700円 { 64人×9,900円×5月+ 1人×9,900円×3月 } B・収納権利増減(▲)額=0円 C・収納必要額A(±)B=3,197,700円
	8							0	0					
	9							0	0					
	10	22	1,089,000	21	1,039,500	21	1,039,500	65	3,197,700	3,049,200		0	148,500	
			0	1	29,700		0						0	
	11		0		0		0	0	0	0.0	148,500		0	
								0	0				0	
計	22	1,089,000	22	1,069,200	21	1,039,500	65	3,197,700	3,049,200	95.4	148,500	0		
三 期	12							0	0					A・期首収納権利発生額=2,534,400円 (64人×9,900円×4月) C・収納必要額A(±)B=2,534,400円
	1	22	871,200	21	831,600	21	831,600	64	2,534,400	2,494,800	98.4	39,600		
	2							0	0		39,600		0	
	3							0	0				0	
	計	22	871,200	21	831,600	21	831,600	64	2,534,400	2,494,800	98.4	39,600	0	
合計	67	2,643,300	62	2,465,100	57	2,316,600	186	7,425,000	7,147,800	96.3	277,200	0	D・収納必要額=7,425,000円	



歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
	円	円	円
款 08使用料及び手数料	63,043,100	62,983,700	59,400
項 01使用料	61,925,950	61,866,550	59,400
目 08教育使用料	61,925,950	61,866,550	59,400
02全日制高等学校授業料	61,914,600	61,855,200	59,400
08庁舎等使用料	11,350	11,350	0
項 02手数料	1,117,150	1,117,150	0
目 07教育手数料	1,117,150	1,117,150	0
01高等学校入学料	1,090,450	1,090,450	0
02証明書発行手数料	26,700	26,700	0
款 10財産収入	9,000	9,000	0
項 01財産運用収入	9,000	9,000	0
目 01財産貸付収入	9,000	9,000	0
02土地貸付料	9,000	9,000	0
款 14諸収入	883,868	883,868	0
項 07雑入	883,868	883,868	0
目 02雑入	883,868	883,868	0
81保険料負担金	584,932	584,932	0
保険料負担金	370,305	370,305	0
非常勤職員	214,627	214,627	0
84雑収	298,936	298,936	0
計	63,935,968	63,876,568	59,400

執 行 状 況 調

(令和 5年度)
(令和 6年 5月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 A-D-F	納 期 内 収 入 率 B A-D-F
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	99.9
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.9

□□□□□ □

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和5年度	令和6年度 (令和7年1月31日現在)
	件 数	件 数
全日制高等学校入学検定料	165	0

現 金 出 納 調

浜松江之島高等学校

(令和 5年度)

(令和 6年 5月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,117,150	円 1,117,150	円 1,117,150	円 0	円 1,117,150 256 枚	円 1,117,150 55 枚
計	0	1,117,150	1,117,150	1,117,150	0	1,117,150 256 枚	1,117,150 55 枚

現 金 出 納 調

浜松江之島高等学校

(令和 6年度)

(令和 7年 1月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 865,500	円 865,500	円 865,500	円 0	円 865,500 193 枚	円 865,500 44 枚
計	0	865,500	865,500	865,500	0	865,500 193 枚	865,500 44 枚

□□□□□ □

預 金 調

(令和7年1月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 円	摘要
静岡銀行浜松南支店	無利息型 普通預金	0043936	静岡県立浜松江之島高等学校 資金前渡者 校長 磯部 正之	0	
静岡銀行浜松南支店	無利息型 普通預金	0152821	(自振口) 静岡県立浜松江之島高等学校 資金前渡者 校長 磯部 正之	0	電気・電 話料等自 動振替
静岡銀行浜松南支店	普通預金	0706303	静岡県立浜松江之島高等学校 代理受領者 校長 磯部 正之	0	奨学給付 金代理受 領
残 高 合 計				0	

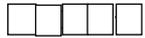
□□□□□ □

郵 券 等 受 払 調

(令和7年1月31日現在)

(単位：枚、円)

区分	種 類	5 年 度						6 年 度						差引現在高	摘 要	
		繰越		受 入		払 出		繰越		受 入		払 出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵券	84円券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	連絡通信用
計		/	0	/	0	/	0	/	0	/	0	/	0	/	0	



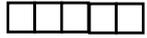
歳入歳出外現金調

県立高校中学校 浜松江之島高校

(令和 5年度)
(令和 6年 3月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 396,616	円 396,616	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	13,885	13,885	0	
所得税	43,676	682,299	690,039	35,936	
保証金	0	803,000	803,000	0	
計	43,676	1,895,800	1,903,540	35,936	

Z1B0070
Z1RB0070



歳入歳出外現金調

県立高校中学校 浜松江之島高校

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 505,580	円 488,356	円 17,224	
教職員互助組合掛金等	0	8,829	8,829	0	
所得税	35,936	705,936	651,664	90,208	
計	35,936	1,220,345	1,148,849	107,432	

Z1B0070
Z1RB0070



歳出予算執行状況調

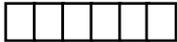
(令和 5年度)
(令和 6年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	129,578,754	129,578,554	200	
項 01 総合教育費	5,720	5,520	200	
目 01 総合教育費	5,720	5,520	200	
08 旅費	5,720	5,520	200	
01 その他の旅費	5,720	5,520	200	
項 02 教育委員会費	16,572,717	16,572,717	0	
目 03 教育管理費	16,452,717	16,452,717	0	
08 旅費	9,618	9,618	0	
02 普通旅費	9,618	9,618	0	
10 需用費	5,570,699	5,570,699	0	
01 その他の需用費	5,570,699	5,570,699	0	
11 役務費	585,200	585,200	0	
12 委託料	113,300	113,300	0	
14 工事請負費	10,173,900	10,173,900	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05 高等学校費	104,409,849	104,409,849	0	
目 01 高等学校総務費	22,282,439	22,282,439	0	
01 報酬	14,527,564	14,527,564	0	
03 非常勤職員報酬	14,527,564	14,527,564	0	
03 職員手当等	602,920	602,920	0	
01 その他の職員手当等	602,920	602,920	0	
04 共済費	4,322,854	4,322,854	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,322,854	4,322,854	0	
08 旅費	2,829,101	2,829,101	0	
01 その他の旅費	2,279,699	2,279,699	0	
02 普通旅費	549,402	549,402	0	

県立高校中学校 浜松江之島高校

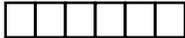
Z1B0030
Z1RB0030



一般会計

(令和 5年度)
(令和 6年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
目 02 高等学校管理費	82,127,410	82,127,410	0	
01 報酬	1,279,970	1,279,970	0	
03 非常勤職員報酬	1,279,970	1,279,970	0	
04 共済費	938	938	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	938	938	0	
07 報償費	189,000	189,000	0	
01 その他の報償費	189,000	189,000	0	
08 旅費	1,752,021	1,752,021	0	
01 その他の旅費	60,788	60,788	0	
02 普通旅費	1,691,233	1,691,233	0	
09 交際費	0	0	0	
10 需用費	12,087,940	12,087,940	0	
01 その他の需用費	12,087,940	12,087,940	0	
11 役務費	1,536,341	1,536,341	0	
12 委託料	64,130	64,130	0	
13 使用料及び賃借料	168,370	168,370	0	
17 備品購入費	500,500	500,500	0	
18 負担金、補助及び交付金	56,115,400	56,115,400	0	
19 扶助費	8,432,800	8,432,800	0	
項 08 学校教育費	8,590,468	8,590,468	0	
目 01 高校教育費	7,193,096	7,193,096	0	
01 報酬	4,114,761	4,114,761	0	
03 非常勤職員報酬	4,114,761	4,114,761	0	
04 共済費	737,209	737,209	0	
01 地方公務員共済組合に対する負担金	0	0	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	737,209	737,209	0	
07 報償費	1,393,840	1,393,840	0	
01 その他の報償費	1,393,840	1,393,840	0	



一般会計

(令和 5年度)
(令和 6年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
08 旅費	90,122	90,122	0	
01 その他の旅費	79,421	79,421	0	
02 普通旅費	10,701	10,701	0	
10 需用費	511,414	511,414	0	
01 その他の需用費	511,414	511,414	0	
11 役務費	20,000	20,000	0	
13 使用料及び賃借料	325,750	325,750	0	
目 04 健康体育費	1,397,372	1,397,372	0	
01 報酬	348,000	348,000	0	
03 非常勤職員報酬	348,000	348,000	0	
04 共済費	419	419	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	419	419	0	
07 報償費	280,800	280,800	0	
01 その他の報償費	280,800	280,800	0	
08 旅費	47,703	47,703	0	
01 その他の旅費	47,703	47,703	0	
10 需用費	402,000	402,000	0	
01 その他の需用費	402,000	402,000	0	
11 役務費	318,450	318,450	0	
計	129,578,754	129,578,554	200	

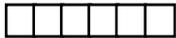


歳出予算執行状況調

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	118,904,006	99,173,792	19,730,214	
項 02 教育委員会費	7,275,215	4,934,346	2,340,869	
目 02 教育総務費	19,665	19,665	0	
01 報酬	19,665	19,665	0	
03 非常勤職員報酬	19,665	19,665	0	
目 03 教育管理費	7,135,550	4,914,681	2,220,869	
08 旅費	80,000	19,459	60,541	
02 普通旅費	80,000	19,459	60,541	
10 需用費	4,706,800	2,744,632	1,962,168	
01 その他の需用費	4,706,800	2,744,632	1,962,168	
11 役務費	1,225,350	1,050,150	175,200	
12 委託料	695,500	672,540	22,960	
14 工事請負費	427,900	427,900	0	
目 04 教育厚生費	120,000	0	120,000	
01 報酬	120,000	0	120,000	
03 非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05 高等学校費	104,170,425	88,182,948	15,987,477	
目 01 高等学校総務費	23,039,933	20,194,786	2,845,147	
01 報酬	14,767,000	13,063,150	1,703,850	
03 非常勤職員報酬	14,767,000	13,063,150	1,703,850	
03 職員手当等	2,807,000	2,806,753	247	
01 その他の職員手当等	2,807,000	2,806,753	247	
04 共済費	2,731,000	2,025,722	705,278	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,731,000	2,025,722	705,278	
08 旅費	2,734,933	2,299,161	435,772	
01 その他の旅費	2,318,000	1,882,228	435,772	
02 普通旅費	416,933	416,933	0	
目 02 高等学校管理費	81,130,492	67,988,162	13,142,330	



一般会計

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 報酬	1,157,840	139,840	1,018,000	
03 非常勤職員報酬	1,157,840	139,840	1,018,000	
04 共済費	441	441	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	441	441	0	
07 報償費	129,000	81,000	48,000	
01 その他の報償費	129,000	81,000	48,000	
08 旅費	2,576,240	2,053,501	522,739	
01 その他の旅費	61,240	42,011	19,229	
02 普通旅費	2,515,000	2,011,490	503,510	
10 需用費	9,664,300	5,893,156	3,771,144	
01 その他の需用費	9,664,300	5,893,156	3,771,144	
11 役務費	1,581,871	1,194,094	387,777	
12 委託料	91,000	0	91,000	
13 使用料及び賃借料	264,000	238,680	25,320	
17 備品購入費	1,655,000	149,050	1,505,950	
18 負担金、補助及び交付金	56,526,000	50,753,600	5,772,400	
19 扶助費	7,484,800	7,484,800	0	
項 08 学校教育費	7,458,366	6,056,498	1,401,868	
目 01 高校教育費	6,104,534	5,078,292	1,026,242	
01 報酬	4,754,600	3,944,599	810,001	
03 非常勤職員報酬	4,754,600	3,944,599	810,001	
04 共済費	652,794	534,854	117,940	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	652,794	534,854	117,940	
07 報償費	378,870	378,870	0	
01 その他の報償費	378,870	378,870	0	
08 旅費	268,270	219,969	48,301	
01 その他の旅費	180,190	165,995	14,195	
02 普通旅費	88,080	53,974	34,106	



一般会計

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
10 需用費	50,000	0	50,000	
01 その他の需用費	50,000	0	50,000	
目 04 健康体育費	1,353,832	978,206	375,626	
01 報酬	586,165	364,665	221,500	
03 非常勤職員報酬	586,165	364,665	221,500	
04 共済費	2,167	2,167	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,167	2,167	0	
07 報償費	396,000	288,000	108,000	
01 その他の報償費	396,000	288,000	108,000	
08 旅費	122,000	79,174	42,826	
01 その他の旅費	122,000	79,174	42,826	
11 役務費	247,500	244,200	3,300	
計	118,904,006	99,173,792	19,730,214	

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					4年度	5年度	左のうち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		113,300	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		64,130	
計					60,830	177,430	
(14) 工 事 請 負 費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		10,173,900	
計					7,128,000	10,173,900	
(16) 公有財産 購 入 費						0	
計					0	0	
(17) 備 品 購 入 費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		500,500	
計					0	500,500	
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		56,115,400	
計					58,517,500	56,115,400	
(21) 補償、補填 及び賠償							

金							
計					0	0	

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年1月31日現在)

在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	672,540	/
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	
計					672,540	0
(14) 工事 請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	427,900	/
計					427,900	0
(16) 公有財産 購入費					0	/
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	149,050	/
計					149,050	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	50,753,600	/
計					50,753,600	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金					0	/
計					0	0

□□□□□□

委託料に関する調

(令和5年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計 金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘 要
				当 初 額	変 更 増減額	計						
1	遠州浜3丁目教職員住宅消防用設備点検業務	東海防災(株)	円 26,400	円 26,400	円 0	円 26,400	随契	5.9.8 ～ 6.3.31	5.10.10 6.4.5	円 13,200 13,200	教職員住宅の消防設備点検	随契1号 (少額)
2	アスベスト調査業務	(株)浜松管理サービス	86,900	86,900	0	86,900	随契	5.9.28 ～ 5.11.20	5.11.13	86,900	アスベスト含有調査	随契1号 (少額)
3	特別管理産業廃棄物収集運搬業務	太洋サービス	6,600	6,600	0	6,600	随契	5.11.20 ～ 6.1.31	6.1.18	6,600	理科薬品の処分	随契1号 (少額)
4	特別管理産業廃棄物収集運搬業務	日本産業廃棄物処理(株)	9,900	9,900	0	9,900	随契	5.11.20 ～ 6.1.31	6.1.18	9,900	理科薬品の運搬	随契1号 (少額)
5	廃棄物収集運搬処理業務	(株)エムエスケイ	47,630	47,630	0	47,630	随契	5.12.1 ～ 6.2.28	6.1.30	47,630	廃プラスチック類等の混合廃棄物の収集運搬及び処分	随契1号 (少額)
	計	5件	177,430	177,430	0	177,430				177,430		
参考 1	警備業務	総合警備保障(株)静岡支社		6,705,600	0	6,705,600		1.10.1 ～ 6.9.30			浜松北高校外7校の校長室、事務室等の機械警備	浜松北高校
参考 2	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		2,129,160	137,500	2,266,660		5.4.1 ～ 6.3.31			浜松湖東高校外10校の自家用電気工作物の保守点検	浜松湖東高校
参考 3	可燃物収集運搬処分業務	環境保全(株)		運搬料 1校1回 あたり 462円 処分料 1kgあたり 13.2円	0	運搬料 1校1回 あたり 462円 処分料 1kgあたり 13.2円		5.4.6 ～ 6.3.31			浜松大平台高校外14校の可燃物収集及び処分場への運搬業務	浜松大平台高校
参考 4	プール浄化装置保守点検業務	清化工業(株)		998,800	0	998,800		5.4.9 ～ 6.11.30			浜松東高校外25校のプール浄化装置の保守点検	浜松東高校
参考 5	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		12,320,000	146,222	11,953,778		5.4.1 ～ 6.3.31			浜松商業高校外10校の消防用設備の保守点検	浜松商業高校

参考 6	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	(有)いま 総合設計		3,817,000		3,817,000	5.9.8 ～ 6.1.31			浜松南・湖西 地区の県立学 校10校の建 築・建築設備 の定期点検	湖西高校
	計	6件									

□□□□□□

委託料に関する調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 産業廃棄物 収集運搬処 分業務	(株)環吉	円 95,040	円 95,040	円 0	円 95,040	随契	6.9.20 ～ 6.12.27	6.12.25	95,040	廃プラスチック 類等の混合廃 棄物の収集運 搬及び処分	随契1号 (少額)
2	産業廃棄物 収集運搬処 分業務	(株)環吉	95,040	95,040	0	95,040	随契	6.12.2 ～ 7.3.25			廃プラスチック 類等の混合廃 棄物の収集運 搬及び処分	随契1号 (少額)
	事務関係 計	2件	190,080	190,080		190,800				95,040		
1	(工事関係) 有害物質含 有調査	(株)静環 検査セン ター	990,000	603,900	-26,400	577,500	随時	6.7.31 ～ 6.9.30	6.9.30	577,500	アスベスト含有 調査	随契1号 (少額)
	工事関係 計	1件	990,000	603,900	-26,400	577,500				577,500		
	合計	3件	1,180,080	793,980	-26,400	767,580				672,540		
参考 1	警備業務	総合警備 保障(株) 静岡支社	/	6,705,600 8,448,000	0	6,705,600 8,448,000	/	1.10.1 ～ 6.9.30 6.10.1 ～ 11.9.30	/	/	浜松北高校外 7校の校長 室、事務室等 の機械警備	浜松北 高校
参考 2	自家用電気 工作物保安 管理業務	遠鉄アシ スト(株)	/	2,786,520	0	2,786,520	/	6.4.1 ～ 7.3.31	/	/	浜松湖東高校 外10校の自家 用電気工作物 の保守点検	浜松湖東 高校
参考 3	可燃物収集 運搬処分業 務	環境保全 (株)	/	運搬料 1校1回 あたり 715円 処分料 1kgあたり 13.2円	0	運搬料 1校1回 あたり 715円 処分料 1kgあたり 13.2円	/	6.4.8 ～ 7.3.31	/	/	浜松大平台高 校外14校の可 燃物収集及び 処分場への運 搬業務	浜松大平 台高校
参考 4	プール浄化 装置保守点 検業務	清化工業 (株)	/	676,500	-17,050	659,450	/	6.4.8 ～ 6.12.27	/	/	浜松東高校外 25校のプール 浄化装置の保 守点検	浜松東 高校
参考 5	消防用設備 等保守点検 業務	静岡県消 防設備保 守点検業 協同組合	/	12,650,00 0	0	12,650,000	/	6.4.1 ～ 7.3.31	/	/	浜松商業高校 外10校の消防 用設備の保守 点検	浜松商業 高校

参考 6	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	(有)いま 総合設計		3,784,000	0	3,784,000	6.8.2 ～ 7.2.28			浜松南・湖西 地区の県立学 校10校の建 築・建築設備 の定期点検	浜松南高 校
	計	6件									

□□□□□□

負担金支出調

(令和5年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	円 19,800	振替日 5.6.9
2	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 2人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	59,400	振替日 5.7.11
3	全国音楽高等学校協議会会費	全国音楽高等学校協議会	開催通知	全国音楽高等学校協議会	10,000	5.7.25
4	静岡県高等学校長協会家庭部会学校負担金	静岡県高等学校長協会家庭部会	開催通知	静岡県高等学校長協会家庭部会	2,000	5.7.26
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 472人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,137,200	振替日 5.7.31
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 5.8.18
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 5.8.30
8	全国美術高等学校協議会会費	全国美術高等学校協議会	開催通知	全国美術高等学校協議会	10,000	3.8.31
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 472人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	23,106,600	振替日 5.10.31
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期週及認定者4人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	198,000	振替日 5.11.13
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料戻入(第2期週及認定者1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	転学生徒の授業料の返金	-9,900	振替日 5.11.17
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 5.12.5
13	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 531人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	18,423,900	振替日 6.1.31
14	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 6.1.31
	計	14件			56,115,400	

□□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会会長	開催通知	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会	2,000	6.7.5
2	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分436人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	12,949,200	振替日 6.7.31
3	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会会長	開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	6.7.29
4	全国音楽高等学校協議会会費	全国音楽高等学校協議会	開催通知	全国音楽高等学校協議会	10,000	6.8.27
5	全国美術高等学校協議会会費	全国美術高等学校協議会	開催通知	全国美術高等学校協議会	10,000	6.8.30
6	静岡県高等学校長協会家庭部会学校負担金	静岡県高等学校長協会家庭部会	開催通知	静岡県高等学校長協会家庭部会	2,000	6.9.20
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分428人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,087,000	振替日 6.10.31
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分422人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,691,400	振替日 7.1.31
計		8件	/	/	50,753,600	/

建 築 工

整理 番号	予算 科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
1	教育 管理費	体育館北側消火配 管漏水修繕工事	浜松市中央区 江 之島町地内	1,012,000 円	988,900 円	0 円	988,900 円
2	教育 管理費	音楽棟空調設備更 新工事	浜松市中央区 江 之島町地内	8,063,000	8,030,000	0	8,030,000
3	教育 管理費	プール東側フェン ス修繕工事	浜松市中央区 江 之島町地内	1,177,000	1,155,000	0	1,155,000
		合 計	3件	10,252,000	10,173,900	0	10,173,900

事 調

(令和5年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工 事 概 要	公有財産台帳	摘 要
随契	(株)北伸	5.11.7 6.1.31	988,900 円	消火栓配管の漏水修理 配管施工 SGP 50A 継手類、ジョイント等 配管設備工事 体育館内壁補修	-	随契1号(少額) 令達日 5.9.20 5.10.30 最終支払日 6.2.16
指名	万菱調機(株)	5.12.28 6.3.21	8,030,000	音楽棟内13教室の空調機の更新 室内機 13台、室外機マルチ用2台 配管 ラッキング 配線工事	-	令達日 5.12.7 最終支払日 6.4.4
随契	(株)杉浦組	6.1.11 6.2.29	1,155,000	フェンス支柱8本と目隠しフェンスの 塗装 足場 一式 支柱8本、コア抜き8箇所 フェンス塗装 一式	-	随契1号(少額) 令達日 5.12.22 最終支払日 6.3.18
			10,173,900			

□□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算 科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
1	教育 管理費	散水用水道メータ 一取替	浜松市中央区 江 之島町地内	円 427,900	円 427,900	円 0	円 427,900
		合 計	1 件	427,900	427,900	0	427,900

事 調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工 事 概 要	公有財産台帳	摘 要
随契	(株)牧野配管	6.9.17 6.10.31	円 427,900	散水用水道メーター取替 パルス発信式水道メータ1個 口径100mm 取替 専用受信機取替	-	随契1号(少額) 令達日 6.9.9 最終支払日 6.11.29
			427,900			

□□□□□□

公 有 財 産 調

(令和5年度)

区 分	令和5年3月31日現在		増		減		令和6年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 2,020,525	/	千円 2,227	/	千円 52,784	/	千円 1,969,968	
土 地	m ² 41,073.35	1,605,792					m ² 41,073.35	1,605,792	
立木竹	本 157	2,650					本 157	2,650	
建 物	m ² 6,647.08 ----- 14,657.27	353,996				46,432	m ² 6,647.08 ----- 14,657.27	307,564	
工作物	個 63	58,087	1	2,227		6,352	個 64	53,962	
普通財産	/	149,260	/	0	/	4,417	/	144,843	
土 地	m ² 2,304.68	69,364				m ²	m ² 2,304.68	69,364	
建 物	m ² 286.43 ----- 725.19	79,896				4,417	m ² 286.43 ----- 725.19	75,479	
工作物	個 2	0				個	個 2	0	
公有財産 に準ずる もの	/	338	/		/		/	338	
電 話 加入権	件 5	338		0		0	件 5	338	

□□□□□□

公 有 財 産 調

（令和6年度）

（令和7年1月31日現在）

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年1月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	千円	1,969,968	千円	1,178	千円	0	千円	1,971,146	
土 地	㎡	41,073.35					㎡	41,073.35	
立木竹	本	157					本	157	
建 物	㎡	6,647.08 14,657.27					㎡	6,647.08 14,657.27	
工作物	個	64	8	1,178		0	個	72	
普通財産	千円	144,843	千円	0	千円	0	千円	144,843	
土 地	㎡	2,304.68			㎡		㎡	2,304.68	
建 物	㎡	286.43 725.19			㎡		㎡	286.43 725.19	
工作物	個	2			個		個	2	
公有財産に準ずるもの	千円	338	千円		千円		千円	338	
電 話加入権	件	5		0		0	件	5	

□□□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和7年1月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	借料		契 約 期 間	所有者 又は 契約者 氏 名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	雑屋建	浜松市中央 区江之島町 630-1	軽量 鉄骨 造	1階	m ² 17.80	円	無償	円 R6.4.1 ~ R11.3.31	浜松江之 島高等学 校後援会	運動部活 動用品収 納庫2棟
	計					17.80					
2	工作物	冷暖房 装置	浜松市中央 区江之島町 630-1			個 1		5,214,954	R3.7.1 ~ R16.6.30	三井住友 ファイナ ンス&リ ース(株)	普通教室 空調
						1		3,095,560	R6.7.1 ~ R19.6.30	NTT・TC リース株 式会社 静岡支店	特別教室 空調
	計				3		8,310,514				

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は 面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地	学校敷地	支線 2本 支線柱 1本	円 1,500	円 4,500	5.4.1 ～ 8.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 浜松営業所長	電力供給
2	土地	学校敷地	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地	学校敷地	0.32㎡	—	免除	3.4.1 ～ 8.3.31	浜松市長	防犯用 街路灯 1台
3	土地	学校敷地	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地	学校敷地	2.16㎡	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	浜松江之島 高等学校 後援会長	モニュメント 1個
4	土地	学校敷地	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地	学校敷地	電柱 2本	1,500	3,000	6.4.1 ～ 9.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 浜松営業所長	電力供給
5	土地	学校敷地	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地	学校敷地	0.25㎡	—	免除	6.4.1 ～ 7.3.31	浜松市長	標識 1本
6	土地	学校敷地	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地	学校敷地	20.54㎡	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	浜松江之島 高等学校 後援会長	運動部活動 用品収納庫 2棟
7	土地	学校敷地	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地	学校敷地	10.58㎡	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	浜松江之島 高等学校野 球部 OB 会	野球部保管 庫 1棟
8	土地	学校敷地	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地	学校敷地	9.97㎡	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	浜松江之島 高等学校野 球部父母会 会長	野球部ベン チ上屋 1棟
9	土地 建物	学校敷地 事務所建 外	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地 校舎外	学校敷地 RC 3F外	土地 8.68㎡ 建物 15.09㎡	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	浜松江之島 高等学校 後援会長	やらまい館 及び素描室 空調機
10	土地 建物	学校敷地 事務所建	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地 校舎	学校敷地 RC 3F	土地 1.00㎡ 建物 2.00㎡	—	3,450	6.4.1 ～ 7.3.31	浜松江之島 高等学校 後援会長	自動販売機 3台
11	土地 建物	学校敷地 事務所建	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地 校舎	学校敷地 RC 3F	土地 20.00㎡ 建物 6.60㎡	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	浜松江之島 高等学校 後援会長	臨時職員の 執務場所及 び駐車場
12	土地 建物	学校敷地 事務所建	浜松市中央区江之島町630-1	学校敷地 校舎外	学校敷地 RC 3F外	土地 0.06㎡ 地下埋設物 225.00m 建物 9.16㎡	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	浜松江之島 高等学校 同窓会長	学習支援室 及び第3共A 空調機
13	建物	事務所建	浜松市中央区江之島町630-1	校舎	RC 3F	32.85㎡	—	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	浜松江之島 高等学校 後援会長	購買室
合計								10,950			

□□□□□□

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年1月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	住宅敷地	浜松市中央区遠州浜3丁目3-2	宅地	住宅敷地	電柱 3本 支線 2本	1,500	7,500	6.4.1 ～ 9.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 浜松営業所長	電力供給
2	土地	住宅敷地	浜松市中央区遠州浜3丁目3-2	宅地	住宅敷地	支線 1本	1,500	1,500	6.4.1 ～ 9.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信 線路設備
合計								9,000			

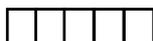
□□□□□□

職員公舎管理状況調

(令和7年1月31日現在)

整理番号	所在地	建築年月	構造	管理戸(室)数(A)	入居戸(室)数(B)	Bの内他事務所職員入居戸(室)数	空家戸(室)数(A-B)	摘要
1	浜松市中央区遠州浜3丁目3-2	H6.11	RC 3F 1棟 12戸	12	0	0	12	20.4.1から空室1戸 23.4.7から空室1戸 25.3.1から空室1戸 25.4.7から空室1戸 25.6.1から空室1戸 26.4.1から空室1戸 26.8.1から空室1戸 28.4.1から空室3戸 30.4.1から空室1戸

								3.11. 1から空室 1戸
	計			12	0	0	12	



備品・図書調

(令和 5年度)

所属 0000221063 県立高校・中学校 浜松江之島高等学校

区分	令和 5年 3月31日 現在	増		減		令和 6年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-02 台類	20	(0) 0	0	(0) 0	0	20
01-04 収納保管庫類	42	(0) 0	0	(0) 0	0	42
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	4	(0) 1	500,500	(0) 1	0	4
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-14 冷暖房器具類	18	(0) 0	0	(0) 2	0	16
01-19 掲示板・黒板	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
02-01 情報処理機器類	325	(0) 0	0	(0) 6	0	319
02-02 情報伝達機器類	12	(0) 0	0	(0) 4	0	8
02-03 再生機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
03-01 撮影機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-02 観察・観測用光学機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
03-03 視覚用再生等機器類	25	(0) 0	0	(0) 0	0	25
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-02 衛生検査用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2



備品・図書調

所属 0000221063 県立高校・中学校 浜松江之島高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 1月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-02 台類	20	(0) 0	0	(0) 0	0	20
01-04 収納保管庫類	42	(0) 0	0	(0) 0	0	42
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-14 冷暖房器具類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
01-19 掲示板・黒板	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
02-01 情報処理機器類	319	(0) 17	149,050	(0) 0	0	336
02-02 情報伝達機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
02-03 再生機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
03-01 撮影機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-02 観察・観測用光学機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
03-03 視覚用再生等機器類	25	(0) 0	0	(0) 0	0	25
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-02 衛生検査用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2



備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000221063 県立高校・中学校 浜松江之島高等学校

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 1月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
05-02 波動・熱試験計測機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
05-03 電気試験計測機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-08 度量衡測定機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
05-99 その他の試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-04 電気電子機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-99 その他の諸機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
08-99 その他の船車類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-06 家庭科用器具類	22	(0) 0	0	(0) 0	0	22
10-07 音楽用器具類	118	(0) 0	0	(0) 0	0	118
10-08 芸術用器具類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
10-12 体育保健用器具類	10	(0) 0	0	(0) 3	0	7
12-01 雑機器	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
計	663	(0) 17	149,050	(0) 3	0	677

□□□□□□□□

主 要 備 品 調

（令和7年1月31日現在）

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購 入 年月	購入金額
	大・中	小				
1	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ CF3S	週4日（年間140日） 音楽授業	平成6年3月	円 6,581,700
2	2-1	パーソナルコン ピュータ（一式）	パーソナルコンピュ ータ（一式） 富士通ESPRIMO D588/B44台他	毎日（年間250日） 情報授業等	令和2年1月	5,987,476
3	10-7	鍵盤楽器	ピアノ カワイ RX-5G	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成16年3月	1,543,500
4	2-1	パーソナルコン ピュータ（一式）	パーソナルコンピュ ータ（一式） 富士通 ESPRIMO D582/E他	毎日（年間250日） 教材作成等	平成25年1月	1,525,346
5	10-7	鍵盤楽器	ピアノ カワイ RX-5	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成12年1月	1,491,000
6	2-3	音響再生機器	ステレオ装置一式 ヤマハ AVZ-22000DSP	週2日（年間70日） 音楽授業	平成6年1月	1,159,780
7	10-7	鍵盤楽器	ピアノ カワイ KG-6	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成5年3月	1,153,600
8	10-7	鍵盤楽器	ピアノ カワイ KG-6	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成5年3月	1,153,600
9	10-7	鍵盤楽器	ピアノ カワイ KG-6	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成5年3月	1,153,600
10	10-7	鍵盤楽器	ピアノ カワイ KG-6	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成5年3月	1,153,600
11	10-7	鍵盤楽器	ピアノ カワイ KG-6	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成5年3月	1,153,600
12	10-7	鍵盤楽器	ピアノ ヤマハ G5E	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成6年3月	1,073,775
13	10-7	鍵盤楽器	ピアノ ヤマハ G5E	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成6年3月	1,073,775
14	2-2	放送装置	音声調整卓 松下WL-SA122	毎日（年間200日） 校内放送	平成16年1月	1,050,000
15	10-6	教育調理器具	調理台 ダルトン JT-601	週4日（年間150日） 家庭科授業	平成10年3月	924,000
16	10-7	管楽器	管楽器 ファゴット シュライバー	毎日（年間200日） 音楽授業・部活動	平成6年3月	902,280
17	1-99	その他の庁用器 具	その他の庁用器具 暗幕一式	毎月（年間10回） 音楽授業	平成6年3月	865,000
18	10-7	鍵盤楽器	ピアノ ヤマハ G3	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成6年3月	859,020
19	10-7	鍵盤楽器	ピアノ ヤマハ G3	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成6年3月	859,020
20	10-7	鍵盤楽器	ピアノ ヤマハ G3	毎日（年間200日） 音楽授業及び練習	平成6年3月	859,020

事務事業及び予算の執行実績（別冊）

静岡県立浜松江之島高等学校

□□□□□

職 員 調

令和7年4月1日現在

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	鈴木雅道		□□□	□□□□	□□□□
2	副校長	越智 敦子		□□□	□□□□	□□□□
3	教 頭	河田琴栄	国語	□□□	□□□□	□□□□
4	事務長	林 真由美	事務総括	□□□	□□□□	□□□□
5	教 諭	間渕 明憲	保健体育	□□□	□□□□	□□□□
6	教 諭	伊藤 真弓	国語	□□□	□□□□	□□□□
7	教 諭	森田 秀夫	数 学	□□□	□□□□	□□□□
8	教 諭	生熊通晴	商業	□□□	□□□□	□□□□
9	教 諭	松山寿樹	保健体育	□□□	□□□□	□□□□
10	教 諭	藤原弘之	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□
11	教 諭	川邊 耕一	美 術	□□□	□□□□	□□□□
12	教 諭	伊藤正徳	保健体育	□□□	□□□□	□□□□
13	教 諭	西尾 昭宏	理 科	□□□	□□□□	□□□□
14	教 諭	小野 公義	理 科	□□□	□□□□	□□□□
15	教 諭	邑田靖代	国語	□□□	□□□□	□□□□
16	教 諭	竹内 栄治	理 科	□□□	□□□□	□□□□
17	教 諭	横地 純子	英 語	□□□	□□□□	□□□□
18	教 諭	酒井 加澄	保健体育	□□□	□□□□	□□□□
19	教 諭	森岡洋巳	美 術	□□□	□□□□	□□□□
20	教 諭	中村 剛久	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
21	教 諭	井戸田 仁志	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
22	教 諭	田川 千里	国 語	□□□	□□□□	□□□□
23	教 諭	小林友香	英語	□□□	□□□□	□□□□
24	教 諭	鈴置 兼隆	数 学	□□□	□□□□	□□□□
25	教 諭	宮脇 大地	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□
26	教 諭	牧野 豊	国語	□□□	□□□□	□□□□
27	教 諭	近藤 茉里	家 庭	□□□	□□□□	□□□□
28	教 諭	川島眞夕美	美 術	□□□	□□□□	□□□□

29	教諭	大竹 幸乃	英語	□□□	□□□□	□□□□
30	教諭	平野 誠英	数学	□□□	□□□□	□□□□
31	教諭	野田 航洋	保健体育	□□□	□□□□	□□□□
32	教諭	中谷 有紀	家庭	□□□	□□□□	□□□□

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
33	教諭	芦澤 駿	英語	□□□	□□□□	□□□□
34	教諭	大井 健都	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□
35	教諭	高塚 仁見	国語	□□□	□□□□	□□□□
36	教諭	吉川 拓磨	商業	□□□	□□□□	□□□□
37	教諭	福積 隼	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□
38	教諭	可知 穂高	国語	□□□	□□□□	□□□□
39	養護教諭	松浦 純子		□□□	□□□□	□□□□
40	主任実習助手	松尾利佳子	理科	□□□	□□□□	□□□□
41	主査	浦田 愛子	管財会計	□□□	□□□□	□□□□
42	主査	影山 拓哉	会計庶務	□□□	□□□□	□□□□
43	主任	菅原健吾	管財会計	□□□	□□□□	□□□□
44	主事	田中秀征	庶務会計	□□□	□□□□	□□□□
合計 44人					(平均年数)	
					□□□□	

(非常勤職員等)

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	竹屋 信彦	国語	□□□	□□□□	□□□□
2	教諭(臨)	寺本 綾乃	音楽	□□□	□□□□	□□□□
3	会計年度任用職員	マルケス アジロ	A L T	□□□	□□□□	□□□□
4	会計年度任用職員	倉田秀之	公民	□□□	□□□□	□□□□
5	会計年度任用職員	外山雅彦	地歴	□□□	□□□□	□□□□
6	会計年度任用職員	吉田明子	数学	□□□	□□□□	□□□□
7	会計年度任用職員	立間由美子	英語	□□□	□□□□	□□□□
8	会計年度任用職員	坂下 由季乃	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
9	会計年度任用職員	笹瀬 一磨	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
10	会計年度任用職員	戸塚 勢津子	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
11	会計年度任用職員	小久保まい	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
12	会計年度任用職員	島野 泰史	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
13	会計年度任用職員	青島 貴和子	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
14	会計年度任用職員	中村 昌子	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
15	会計年度任用職員	横山 郁乃	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
16	会計年度任用職員	磯部 綾乃	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
17	会計年度任用職員	稲垣 満有子	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
18	会計年度任用職員	塚本陽子	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
19	会計年度任用職員	大村幹子	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
20	会計年度任用職員	松本弥津希	音 楽	□□□	□□□□	□□□□
21	会計年度任用職員	中村 美喜子	美 術	□□□	□□□□	□□□□
22	会計年度任用職員	澤出笑可	美 術	□□□	□□□□	□□□□
23	会計年度任用職員	村井 宏有	美 術	□□□	□□□□	□□□□
24	会計年度任用職員	竹下 真澄	美 術	□□□	□□□□	□□□□
25	会計年度任用職員	森林 涼香	美 術	□□□	□□□□	□□□□
26	会計年度任用職員	間淵 一郎	書 道	□□□	□□□□	□□□□
27	会計年度任用職員	田辺 隆宏	書 道	□□□	□□□□	□□□□
28	会計年度任用職員	伏見 博美	スクール リーダー	□□□	□□□□	□□□□
29	会計年度任用職員	河合 卓	環境整備	□□□	□□□□	□□□□
30	会計年度任用職員	濱川 逸子	環境整備	□□□	□□□□	□□□□
31	会計年度任用職員	鈴木 秀和	環境整備	□□□	□□□□	□□□□
32	会計年度任用職員	澤木里枝子	支援金事務	□□□	□□□□	□□□□

(学校医等)

1	学校医	栗山 章子	内 科	□□□	□□□□	
2	学校医	朝岡 眞	眼 科	□□□	□□□□	
3	学校医	藤森 俊也	耳 鼻 科	□□□	□□□□	
4	学校歯科医	大庭 誠介	歯 科	□□□	□□□□	
5	学校薬剤師	垣本 正人		□□□	□□□□	
6	健康管理医	白井 直人		□□□	□□□□	

□□□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	5	
30歳以上40歳未満	13	
40歳以上50歳未満	6	
50歳以上56歳未満	8	
56歳以上61歳未満	5	
61歳以上	7	再任用職員7人
計	44	平均年齢45・2歳

□□□□□□□□

健 康 管 理

1 6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 44人 職員数 44人
受 診 率	100%
県平均 受診率	100%

(1) 未受診の理由
産休・育休 0人
休職等 0人

2 7年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分		人数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	0人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療 0人
B2		要経過観察 0人
C1	勤務をほぼ平常に行つてよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療 0人
C2		要経過観察 0人
D1	平常の勤務でよい。	要治療 9(9)人
D2		要経過観察 5(5)人
D3		医療不要 27(27)人
区分者計		41(41)人
未区分者計		3人
合 計		44(44)人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 育休 0人
イ 新規採用 3人
ウ 自己都合による未受診 0人
エ その他 0人